

学校教育努力点の取り組みについて

「心身ともにたくましく、心豊かな穂波っ子の育成」

～運動に親しみ、仲間とのコミュニケーションを大切に～

コロナ禍で友達との直接的な関わりが少なくなり、自分のよさを見つけたり、友達のことを認めたりすることが苦手な子ども、運動する機会が少なくなり、体を自分の思い通りに動かすことができない、運動能力が低下している子どもが多くなってきています。

このような状況の中、心と体の両面を健全に育てていくことが重要であると考えています。本校では、1年目には、心を育てていくこと、2年目には、体を育てていくこと、3年目に成長させてきたことをいろいろな学習活動で生かすことに重点をおいて、実践を進めていきます。

本年度は、2年目となります。体を育てていくことを重点として、①運動することが好きな子ども、②仲間と関わり合い、互いに高め合う子どもを目指していきます。

「運動に親しむ」ことを目的として、低・中・高学年に分け、朝タイムの時間に体育集会を行いました。集会では、映像を流し、その動きを真似し、音楽に合わせて楽しく体を動かしました。朝に体を動かすことで、すっきりした気持ちで一時間目の臨むことができました。

6月26日(月)に「進んで考えた動きを伝えたり、友達の動きを感じ取ったりして表現を楽しむこと」を目標に、2年1組で体育科、表現運動の授業を行いました。ものまねダンスと題して、グループで一つ動物を決め、メンバーで話し合ったり、実際に動いたりして動きを工夫するという活動に取り組みました。本時では、グループごとに考えたダンスを発表して、他のグループが表現した動物は何かを予想するという発表会を行いました。発表では、進んでリズムによって表現する姿が見られました。また、他のグループの発表を見ながら、表現している動物が何かを一生懸命に



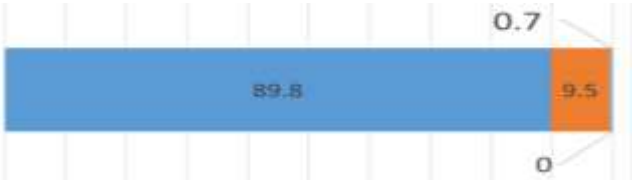
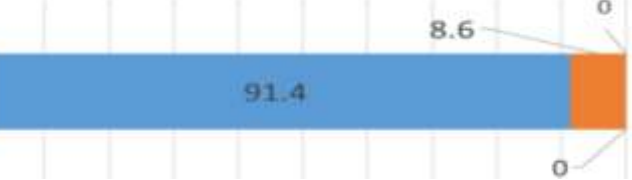
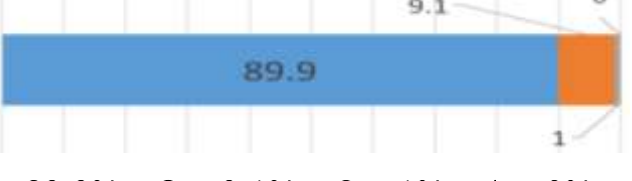
考えていました。発表会では、緊張しながらも楽しそうに踊る姿が印象的でした。運動することが好きな子ども、仲間と関わり合い、互いに高め合う子どもを目指して今後も実践を進めていきます。



運動会保護者アンケートについて

アンケートへのご協力、ありがとうございました。本年度の運動会は、新型コロナウイルス感染症も落ち着き、熱中症対策を行いながら、全校一斉に行いました。安全に実施するためにご協力いただき、ありがとうございました。

裏面のアンケートの結果のように、ア、イ、ウのどの設問も、「はい」、「どちらかといえば、はい」を合わせると90%を超えていました。この結果より、子どもたちが日頃の練習の成果を本番で発揮し、一生懸命取り組む姿、楽しんで取り組む姿を保護者の皆様に披露できたことは、評価できると思います。

| 評価項目 | 4…はい | 3…どちらかといえば、はい | 2…どちらかといえば、いいえ | 1…いいえ |
|------|--|---------------|--|-------|
| ア | お子さんは、運動会に楽しんで取り組むことができていましたか。 | | 平均得点… 3.9 (4点満点)  4 : 89.8% 3 : 9.5% 2 : 0.7% 1 : 0% | |
| イ | お子さんは、競争種目 (1・2年：ダンシング玉入れ、3・4年：ダンシングつな引き、5・6年：穂波ヶ原の合戦) に一生懸命取り組むことができていましたか？ | | 平均得点… 3.9 (4点満点)  4 : 91.4% 3 : 8.6% 2 : 0% 1 : 0% | |
| ウ | お子さんは、「かけっこ・短距離走」に一生懸命に取り組むことができましたか？ | | 平均得点… 3.9 (4点満点)  4 : 89.9% 3 : 9.1% 2 : 1% 1 : 0% | |

ご意見、ご感想 (概要と抜粋)

近年の初夏の気温が高く、本番当日も暑かった。運動会の時期を考え直した方がよいのではないかと。

⇒ 初夏の気温の高さの対策として、練習時間の短縮、運動会当日の時間の短縮、子どもへの水分補給の声掛けなどの体調管理を考えて行いました。当日の暑さ対策として、教室に一度戻り、クールダウンの休憩時間を設けるなど、様々な暑さ対策の方法を考えるとともに、実施時期も含め、今後も検討したいと思います。

運動会のプログラム内容に縮小があったが、それを感じさせない工夫が感じられ、以前のような熱い応援で盛り上がりを感じた。

種目が減った印象がありますが、熱中症対策として、種目や練習日程を見直したのだと考えると、妥当かと思う。

種目が減ったことで、盛り上がりを欠いていた。また、短距離走で走る前の名前のコールがなくなったことは、残念である。種目数や内容をもう一度見直してほしい。

⇒ 競技種目については、賛否両論、多くのご意見、ご感想をいただきました。今年度の競技種目の数、内容についての見直しは、初夏の暑さ対策を第一に考え、行いました。

運動会本番の様子から、運動会全体の時間短縮については、予定終了時刻とほぼ同じで終了できたため、計画通り行うことができたと考えています。そのため、午前中開催として、本年度行った種目数については、現段階でベストだと考えています。限られた種目数の中で、内容を吟味し、よりよくしていきたいと考えています。また、短距離走での子どもの名前のコールの削除ですが、時間短縮以外に個人情報保護についても考えていますので、ご了承ください。

児童席に入っのスマホによる写真や撮影をする保護者が多々いた。

短距離走等のゴール位置の近辺で撮影する人が絶えず、あふれていた。

⇒ ルールを守って観覧していただいた保護者の皆様にご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。ここ数年、コロナ禍で、保護者の人数制限、感染症予防のため児童と保護者の

接触制限がされており、少しでも近くで見させていただくために撮影スペースを設けてきたため、今年度については、撮影スペースを設けることをしませんでした。次年度、観覧マナーの徹底について今一度考え直していきたいと考えております。

- 熱中症対策として時間を短縮し、競技を組んでいただけだ事で子どもたちの負担も少なかった。
- 子どもたちの成長を感じることができたことと、声を出して応援できた事が本当によかった。
- 運動会のプログラム内容に若干の縮小があるとも聞いていましたが、それを感じさせない工夫が感じられた。
- 今回の運動会で、お手伝いをする児童をたくさん見て、子どもたちが積極的に関わる事で芽生える気持ちも育んでもらえていると感じた。

今後も見直しを図り、安心・安全で楽しめる運動会を目指していきたいと思っております。
ご協力いただき、ありがとうございました。

